

令和7年9月2日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A ふ じ 伊 豆
韮山営農経済センター

第9回 (9/2号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は、昨年比べて前進傾向に推移しております。韮山地区では開花期に入っていました。長岡地区、大仁地区では乳熟期に入っており、大仁地区の神島では固熟期に入っていました。開花期から乳熟期にかけては水を一番必要とする時期になるため水を切らさないことが重要です。また、9月以降も暑い日が続くことが予想されますので、間断灌水の実施を検討いただき、水温を下げる管理をお願いいたします。

山間地の田原野では、収穫適期となっている圃場も見られました。穂の9割以上が黄金色に成熟していれば収穫時期です。刈り遅れにならないように注意してください。

② 病虫害状況

今回の調査で、開花期を迎えている圃場では、周辺から目視確認にて調査をおこないました。ウンカ類やヨコバイ類については、発生量も少なく被害の心配はありません。

江間地区の圃場ではカメムシの発生が確認されました。吸汁による斑点米は、等級の低下につながります。ご自身の圃場をご確認いただき、防除の検討をお願いいたします。

殺虫剤

○スタークル粒剤 3kg/10a 3,660円/1袋 (3kg)

時 期：出穂期～出穂10日頃

備 考：上記時期はカメムシの散布適期です。秋ウンカもこの頃に密度が増加してきます。カメムシ対策も兼ねてこの時期に散布を推奨します。

○トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 1,400円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元に掛かるように行う。

※商品の値段は全て税込表示です。

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。